

不知火の無加温栽培などのビニール被覆適期

農業研究センター 天草農業研究所

研究のねらい

不知火の無加温栽培などの樹勢強化と果実品質の向上のための、ビニール被覆開始適期を検討した。

研究の成果

1. 3月から5月までの月別加温では発芽数、新葉数、長さ、葉面積は3～5月加温に次いで3月加温が伸長が良く葉も大きく、春梢に対する影響は3月加温が大きかった。
2. また、正常花率、有葉花率は3～5月加温に次いで4月加温が高く、花器の発達には4月加温が大きかった。
3. 2月から5月までの期間別加温では発芽数、新葉数、正常花率、有葉花率は2～5月加温が良く、春梢の長さ、葉面積は、3～5月加温が伸長が良く葉も大きかった。
4. 以上の結果から、不知火の無加温栽培などのビニール被覆適期は2月が発芽数、新葉が多く、花の形質も良いが、その後の温度不足や低温により新梢の伸びが悪く、葉も小さいことから3月上、中旬が適期である。
5. 無加温栽培などビニール被覆すると発芽が早くなるので、寒害には十分に注意する。

第1表 春梢の生育

1992年

区 分	発芽数	着葉数	新葉率 %	春 梢		1 葉当たり 葉面積 cm ²	止め葉の 葉面積 cm ²
				長さcm	葉数		
3月加温区	109.8	471.7	75.4	5.84	4.30	10.18	9.00
4月加温区	72.4	343.0	64.7	3.64	4.24	9.03	8.87
5月加温区	69.8	245.3	56.7	3.54	4.47	7.64	6.66
3~5月加温区	99.8	358.4	73.9	5.72	4.04	14.16	10.59
無加温区	65.4	295.0	58.3	3.74	5.14	6.11	6.37

注) 発芽後、着葉数は1ポット当たり

第2表 春梢の生育

1993年

区 分	発芽数	着葉数	新葉率 %	春 梢		1 葉当たり 葉面積 cm ²	止め葉の 葉面積 cm ²
				長さcm	葉数		
2~5月加温区	110.0	467.0	66.7	6.01	4.90	9.52	7.84
3~5月加温区	81.3	423.3	65.7	6.50	5.20	11.03	10.11
4~5月加温区	86.7	318.3	54.5	6.31	5.23	10.37	8.41
5月加温区	77.7	287.7	45.1	4.75	4.63	7.65	6.42
無加温区	74.3	235.3	43.0	4.22	4.43	5.72	4.96

注) 発芽数、着葉数は1ポット当たり

第3表 花の形質

1992年

第4表 花の形質

1993年

区 分	着葉数	正常 花率 %	有葉 花率 %
3月加温区	207.4	51.0	65.8
4月加温区	108.4	71.0	83.0
5月加温区	132.6	48.1	48.7
3~5月加温区	144.0	89.2	92.1
無加温区	117.4	39.0	60.0

注) 着花数は1ポット当たり

区 分	着葉数	正常 花率 %	有葉 花率 %
2~5月加温区	331.7	92.3	74.2
3~5月加温区	272.7	90.7	70.2
4~5月加温区	216.3	79.1	56.7
5月加温区	246.0	68.0	51.2
無加温区	232.0	45.8	54.1

注) 着花数は1ポット当たり



写真 実験風景